光山だより

１１月号
発　行
大沢ふれあいのまちづくり
協議会広報部
http://www.ozo.jp

大沢ふれあいのまちづくり協議会幹事会

去る、９月25日（金）午後７時から、大沢地域交流センターにて幹事会を開催しました。

内容は、①本年４月から新たな名称となった地域交流センターの利用状況、②利用予約申請等の再確認、③市から照会の現状料金の新規設定・変更の取扱いの検討、④今年度ふれまち助成事業の申請内容、⑤交流センターの広告取扱の考え方の周知、⑥大沢町ホームページの広告取扱、⑦エコノバ資源回収状況等について、情報を共有するとともにふれまち事業の推進を図るため協議検討を行いました。

①については、市の条例に基づき、予約・申請手続きがルール化されたことにより、前年に比べ多くの皆さんにご利用頂いている状況です。②は、ルールにより適正に利用されていますが、取扱について再度周知する必要がある旨の説明を行ないました。③については、現在の利用料金は変更せず、また設備関係の新規設定も行わないことに決定。④については、事業経費を考え各々の担当にて、事業の推進並びにその事務取扱手続きの周知を行ないました。⑤は、公共施設として公平性等の観点から、広告物等の制限がある旨を説明、その周知を図りました。⑥については、ふれまち事業の運営資金を確保するため、広告取扱制度の明確化図ることとしました。⑦については、現在の利用状況を報告し、今後の利用促進を図るため、その取扱いの再周知をお願いしました。

最後に、大沢ふれあいのまちづくり協議会の運営と事業の推進を相互に確認し会議を終えました。今後とも、皆さんのご理解ご協力をお願いいたします。

（大家重明）

今年の秋祭り















２０２５年国勢調査の結果をお知らせします　‼

神戸市の集計結果の概要

人口　１４９．５万人　（対2020年比　30,155人減）

世帯数　７６．８万世帯（対2020年比　32,866世帯増）

神戸市の世帯の家族類型

核家族世帯 2020年 52.5% ⇒ 2025年 48.3%（△4.2%）

単独世帯　2020年 43.4% ⇒ 2025年 48.9%（＋5.5%）

健康コラム

インフルエンザは発病後、多くの方は１週間程度で回復しますが、中には肺炎などの重い合併症が現れ、入院される方や死亡される方もいます。そのため、かからないように予防することが大切です。

●インフルエンザの症状

38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など全身の症状が突然現れます。併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻水、咳などの症状も見られます。

●インフルエンザの予防方法

①マスクの着用

不織布マスクなどを使用し、鼻、頬、あごをしっかりマスクで覆いましょう。

②手洗い

流水・石鹸による手洗いは、体についたウイルスを物理的に除去します。

③適度な湿度の保持

空気が乾燥すると、気道粘膜の防御機能が低下します。加湿器などを使い適切な湿度（50～60％）を保ちましょう。

●インフルエンザワクチンには発病や重症化を予防する効果があります！

神戸市では予防接種料の補助を行っています。

〈対象者〉神戸市内に住民登録のある、生後６か月～12歳のお子さん、65歳以上の高齢者、60～64歳で特定の疾患をお持ちの方

〈対象期間〉2026年10月１日～2027年１月31日

FARM CIRCUS 米総動

10月４日にFARM CIRCUSで「米総動2026」を開催しました。当日は雨となりましたが、たくさんのお客さまにご来場いただき、炊きたての地元産新米と、ご飯に合うおかずやお米を使った商品を楽しんでいただきました。お昼過ぎには中大沢の獅子舞が来てくださり、力強い舞で会場を盛り上げてくださいました。今後も地域の食と文化を楽しめる催しを続けてまいります。10月31日には今年も「農村ハロウィン」を開催します。皆さま、ぜひ遊びにお越しください！

（中島徳太郎）

神戸イルミナージュ開催

道の駅神戸フルーツ・フラワーパークで、日本最大級のイルミネーションイベントが実施されます。動物たちが虹色に輝くイルミネーションや異国情緒あふれるアラビアパレス、ロマンチックなラブトンネルやバブルレーザーショーなど、幻想的な光の世界をお楽しみください。

2026年10月23日（金）～2027年２月14日（日）

点灯 17時30分～21時30分

入場券

・大人　2,000円

（優先入場券は3,000円）

・小人　1,000円

（優先入場券は2,000円）

・ペット　500円

※12月31日は通常のチケットで入場できませんので、カウントダウンのチケットをご購入ください。

行事予定（11月）

1　消防・防コミ合同防災訓練
2　光だより編集委員会
3　大沢フェスタ
4　民生児童委員協議会定例会
7　児童館交流ＧＧ大会
12　婦人会定例会役員会
ＪＡ年金友の会親睦旅行
14　ふれあいコメづくり広場収穫祭
おひさま食堂
18　ふれあい昼食会
19　自治連合会定例役員会
学校運営協議会
23　学校公開デー
ふれあいエコハイキング
25　光山だより配布
29　町民グラウンドゴルフ大会

町民の動き

おくやみ

10／３上大沢　幸田忠治様81歳



俳句

∞∞ 句 ∞∞ 投 ∞∞

末っ子に産れて長寿や衣被　弘枝
どんぐりの音におどろく夜明前　弘枝
野地蔵の肩に頭に赤とんぼ　純子
鳴き砂に残る足跡神の留守　純子
にぎやかに餅まきで締め秋祭り　三恵子
赤つづくひとつ白あり曼珠沙華　三恵子

大沢町 地域事務局 掲示板



生物多様性ＰＪ「溜池調査」

10月18日、令和8年度第一回生物多様性プロジェクト会議を開催しました。参集者は、自治連合会三役、各地区自治会長（岡、上木、北浦各氏）大沢出張所（古結所長、澤井係長）三重大学河村教授と学生達、兵庫県立大学高橋教授、三田市有馬富士自然学習センターＣＭ谷本氏、兵庫水辺ネットワーク安井氏とその仲間達。大沢地域交流センターで昨年度の調査結果を安井氏より報告を受けた後、三班に分かれ継続調査している町内の溜池へ。目視と「もんどり」による捕獲調査を実施。結果をもとに大沢地域交流センターにて協議。

ニッポンバラタナゴについては、場所によっては、絶滅したと思われる溜池も有り心配されるところです。昨年度の渇水、アライグマによる「どぶ貝」への食害が主たる原因と考えられます。今後、ニッポンバラタナゴ復活に向けて域外保全されているあいな里山公園からの里帰りも視野に入れながら、減少している「どぶ貝」対策が必要です。

今回は、ニッポンバラタナゴを主とした魚類、甲殻類の調査（一部ハリマノフサモ等の水生植物）をしました。生物多様性プロジェクトとしましては、この結果をふまえ、ニッポンバラタナゴ純粋系統の保存継続に、また棲息減少の一因であるアライグマ対策について取り組んでいきます。

予告ですが、11月3日（火・祝）イオンモール神戸北1階さざんかコート「おおぞうフェスタ」イベントの片隅に大沢町の魚類を展示します。どれだけ採取できるかわかりませんが、豊かな大沢の自然を来られる皆様に感じて頂けたらと思っています。

（生物多様性ＰＪ担当　辻井立郎）



大沢ふれあいコメづくりひろば 稲刈り＆干し柿づくりに挑戦

今年3回目の「ふれあいコメづくりひろば」［稲刈り＆干し柿づくり］を、10月17日（土）８家族27名、スタッフ14名の参加にて、上大沢ふれあい会館と周辺圃場で開催。

当日は、夏を思わせる暑さで、風が吹くと涼しく感じるいい天気。前回に作った案山子に見守られ、まずは稲刈り作業へ。稲刈りの作業説明を真剣に聞く子ども達、顔が隠れるくらいの稲束を稲木に掛けることにひと苦労する姿、お父さんお母さんがその様子を必死に撮影する姿、また高齢の参加者が道沿いに座りその作業を笑顔で見守る姿等、何故か昔の懐かしい稲刈り風景を見ているようで印象的でした。

その後は干し柿づくりへ。指導員の説明を聞き、無心に柿の皮をむく。柿の大中小その大きさに悪戦苦闘し、カビ予防も教えて頂き完成。干し柿づくりはかなり楽しかった様子。また、スタッフと一緒に「かやねずみ」の巣を探す親子もあり、楽しい交流の一時でした。



次回「収穫祭」で、皆さんに出逢えることを楽しみに会場を後にしました。（鈴木広史・大家重明）

土地改良区だより

土地改良区では議決機関の総代会を、予算審議の為の定期総会として3月に、前年度の決算と事業報告の審議の臨時総代会を9月にそれぞれ開いています。さる9月28日に臨時総代会を開催しました。

事業報告は、遅れていた日西原工区の登記処分を令和８年度中に完了出来るように最終の作業工程に入っていること。神付地区の神戸市へ道路移管と中大沢地区の残りの移管完了共用に向けて、神戸市決済の最終段階を迎えている、併せて令和７年度の決算が臨時総代会の場で議決された。

圃場整備も完了してこれからは施設水路等の維持管理に経費が必要になってきます、国県市で各種の適正化事業が用意されています、採択要件も複雑になっているが、土地改良区事務所へ気軽に声をかけてください。（岩形孝司）

しあわせクラブ 社会奉仕作業

例年、老人福祉週間にかんがみ、全国一斉に「9月 20日　社会奉仕の日」が設定されていますが、私たちも9月24日に歩道の清掃活動を各地区毎に実施しました。当日参加していただいた46名の会員の皆様には、残暑きびしい中、本当にありがとうございました。二地区の活動を紹介します。

臨機応変 全てが学びの自然学校

「簾地区」

今年は特に「フジ」の生育が目立ち、フエンスに巻き付いた「フジ」の撤去が大変でした。住民の皆さんからは感謝の声が寄せられており、老人クラブの一斉奉仕作業が地域の環境を守るための一助になっていることに満足感を感じています。

「善入地区」

善入農業倉庫あたりから、ライスセンターまでの間の清掃とごみ拾いを約一時間かけて行いました。道路の両サイド、特に田んぼ側の溝に空き缶やペットボトルが捨てられていました。上大沢の里づくりで看板を立てているが殆ど効果がないように思います。この道は町外の車がよく通るのでマナーの悪さが如実に表れています。

（北本義利）

去る9月 28日（月）～30日（水）、五年生児童13名とともにハチ高原へ自然学校にでかけました。

初日から雨、雨、雨・・・の自然学校でしたが、対応力の高い五年生の子供たちは予定していたプログラムが変更になっても、班で協力して活動したり、楽しみながら取り組んだりしていました。宿の方もいろいろと工夫して下さり特に大広間でのテント設営には、子供たちも大喜びでした。

二日目には、予定通り飯盒炊爨（カレーライス）、魚つかみ、キャンプファイヤー等のプログラムを実施することができました。

二泊三日の自然学校を通して、私が見つけた（再確認した）五年生の子供たちの良さは『変化を楽しむ心』『進んで協力できる互いのつながり』等です。『経験は、子供たちのもっている力を強化する』ということが、改めて実感できました。

五年生の子供たちは、自然学校で学んだことを学校生活に活かそうと頑張っています。更にたくましく成長しようとする子供たちを温かい心で見守っていただければと思います。

（校長　前田忍）





中学校 野外活動

家島に行ってきました。9月30日から10月2日まで、1・2年生が兵庫県立いえしま自然体験センターで野外活動を行いました。姫路港からフェリーで家島へ渡り、釣りや野外炊飯、星空・ウミホタル観察、一人カヤック、いかだ作り、地引網、貝殻クラフトなど、豊かな自然の中でさまざまな体験をしました。釣りでは50匹以上の魚が釣れ、カレー作りも全班が大成功。満天の星空や流れ星に感動する場面もありました。また、各班が工夫を凝らしたレクリエーション大会は大いに盛り上がりました。1・2年生が学年の垣根を越えて協力し、一人ひとりが自分の役割を果たしたことで、大きなけがや事故もなく充実した三日間となりました。この経験で学んだ協力することの大切さや挑戦する気持ちを、今後の学校生活にも生かしてほしいと思います。

笑顔いっぱい、

（1年総務　城之内勇樹）



幼稚園 園外保育

大沢幼稚園では、園児が多様な経験が積めるよう近隣の有野幼稚園や長尾幼稚園へ園外保育に出かけています。

園外保育では、様々な遊びの交流をしています。

一学期には、色水遊びや水（プール）遊びを一緒に楽しみました。

二学期には、山本つばささんのお誕生会を有野幼稚園の園児と合同で行いました。多くのお友達や参加された保護者、先生方に祝福され、満面の笑顔で喜ぶ姿が印象的でした。

これからも一緒に芋ほりをしたり、音楽鑑賞をしたりと多くの交流があります。交流を通して豊かな体験ができればと思います。

（大沢幼稚園　前田　忍）



里山わくわくデー

先月号でお知らせしました「里山わくわくデー」が10月12日（祝）に秋晴れの下、五社寮跡地で開催され、350名ほどの参加を得ました。オープニングの八多太鼓には大沢の子どもも元気な姿で登場しました。

連合婦人会の飲食コーナーにはひっきりなしに行列が出来、大変うれしく忙しい時となりました。

「何か賑やかやから来たよ。」と言って近くの方々が散歩がてらに来られたり、家族連れの喜びの歓声がこだましました。地域おこし協力隊の協力あっての一日でした。

（中西　晴美）



